

適切な資料を引用し、文章の構成を工夫して自分の考えを書くこと

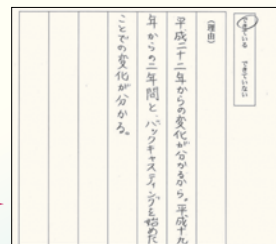
つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

資料を正確に読み取っているが、「この資料が本文に述べられている要旨につながるものではない」という判断ができていない。

	島内	島外	総数
平成19年	31	2	33
平成20年	26	2	28
平成21年	31	2	33
平成22年	26	8	34
平成23年	27	13	40

[発問]
この資料の引用が本文の要旨を説明するのに適しているか。



実践の概要

単元名

町の未来をえがこう

『町の幸福論-コミュニティデザインを考える』東京書籍

目標 本文の内容と提示された資料が適切かどうかを考え、教材文の写真に込められた筆者の意図を読み取り、自分の考えが伝わるように書きまとめることができる。

- 内容
- ・「町の幸福論」の文章構成の工夫や資料の適切さを読み取る。
 - ・資料を集め、必要な情報を用いて、「加古川町」の未来について自分の考えが伝わるように書く。
 - ・町づくりについてプレゼンテーションを行い、交流・検討し合う。

学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

学年	学習内容 (単元名)	つまずきの実態
第6学年	町の未来をえがこう	資料を正確に読み取っているが、「この資料が本文に述べられている要旨につながるものではない」という判断ができていない。
第5学年	和の文化について調べよう	自分の考えを明確に伝えるために文章構成を考えているが、効果的ではない。
第4学年	わたしたちの生活とロボットについて考えよう	様々な角度から考え、内容を整理して書くことや接続語や指示語、文末表現を効果的に使って書くことができない。
第3学年	要約名人になってもうどう犬リフレットを作ろう	中心となる言葉や文を見つけて要約することができず、長い文を書き写してしまう。
第2学年	どうぶつのひみつをみんなでさがろう	見つけた大事な言葉を使って、順序よく書きまとめたり、不要な言葉を省いたりすることができていない。
第1学年	サラダでげんきおしゃべりレシピをつくろう!	大事な言葉を見つけ、順序に注意して正しく文や文章を書くことが難しい。

単元末の目指す姿

- ・資料を引用する際に、自分の伝えたい内容を説明するのに適切かどうかを考えるようになる。
- ・文章を書くときに、効果的な構成になっているかを意識して書くようになる。



つまづき解消に向けた指導の工夫

本文に基づいて、示された資料が適切かどうかを考え、その理由を書きまとめる活動を取り入れる。

活動のねらい▶ 提示された資料が、本文の要旨や筆者の考えを裏付ける根拠になっているのか考えることができる。

ここがポイント

適切な資料を引用する力を付けるために、あえて適切とはいえない写真資料を用意し、それがなぜ適切でないかを考えさせたり、筆者が引用した写真資料とは何が違うのかを考えさせたりする。また、その理由について発表するにあたって、相手を説得するために、より効果的な構成を考え、説明的な文章で書きまとめる学習を行う。自分の考えを「書き言葉」で整理することで論理的な思考力を養うことができる。

授業の様子

教師が用意した資料



島根県の離島にある海士町①

本文の資料



島根県の離島にある海士町②

(筆者の意図) この写真には、美しい自然と、港と、人がたくさん集まる建物がある。美しい自然があり、港にフェリーでたいてくる「町民の未来のイメージ」が叶う場所だと思います。そのわけは、くさんの人が来て、この写真に写っている建物に集まるからです。また、ここは、島の人も集まり、いろいろな人たちが交流できる場所だからです。

③資料から読み取った内容

②本文の内容に戻る(筆者の意図)

①自分の考え

(期待される児童の姿)
「資料」「本文」「自分の考え」と3つの構成で効果的な文章を書くことができるようになる。